

## 外来植物ナガエツルノゲイトウについて意見交換

6月21日（金）、環境パートナーシップちば主催による「花見川 ナガエツルノゲイトウの分布調査」が行われました。当日、花見川的环境を守る会、印旛沼土地改良区、佐倉印旛沼ネットワークの会、千葉県環境生活部自然環境課生物多様性戦略推進室生物多様性センター、千葉市環境保全課自然保護対策室、八千代市環境保全課環境政策室から計16名の方々が参加し、印旛沼周辺はもとより近年花見川でも繁殖しているナガエツルノゲイトウの分布状況を調査が行われました。参加者は、分布調査後、当管理所が管理する大和田機場を見学し、その役割について職員から説明を受けました。



（大和田機場について説明）



（花見川の洪水警報について説明）

その後機構職員も加わり、ナガエツルノゲイトウの特徴や外来生物法に基づく駆除作業の注意点、平成21年に大和田機場の排水運転により漂着してきたナガエツルノゲイトウの駆除や協働ボランティア活動として平成23年から始まった低地排水路での駆除作業などの体験談など聞いた後、関係機関におけるナガエツルノゲイトウに関する取り組み状況などについて意見交換を行いました。



（大和田機場（新川側）での駆除状況）



（ナガエツルノゲイトウ駆除作業）

### ※ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物）

南アメリカ原産の外来種で、水辺の湿った環境に生える多年草である。在来種の植物を駆逐したり、水面上に繁茂することで水流を停滞させる。また、農業用水のポンプがナガエツルノゲイトウを吸い込むことでスクリーンに目詰まりが生じ、ポンプ運転に支障を来している。